

学校関係者評価報告書

愛媛県立弓削高等学校

学校番号(18)

No. 1

評価実施日		令和6年2月20日(火)	
委員	氏名	所属等	備考
	今宮 浩	上島町立弓削中学校校長	
	新居田 貴祐	上島町立弓削小学校校長	
	村上 律子	株式会社しまの会社代表取締役	学校評議員
	藤原 綾子	弓削民生児童委員	学校評議員
	藤本 隆士	国立弓削商船高等専門学校副校長	学校評議員
	梨木 善彦	上島町教育委員会学校教育課長	学校評議員
	松浦 哲久	上島町商工会会長職務代行	学校評議員
	村上 貴樹	P T A会長	
	澤田 由紀	副P T A会長	
	濱田 亜紀子	副P T A会長	
	岡野 加恵	副P T A会長	

評価・提言等	提言等に関する改善方策等
<p>1 学習指導</p> <p>(1) 家庭学習時間を確保するための適切な課題については、知識の伝達だけになると評価が低くなる。自ら学ぶ意欲を持たせるために、基礎固めが必要である。発達段階に応じて授業のスタイルは変わってくるが、小・中・高と近隣にあるので一緒に考えていきたい。</p> <p>(2) 学習面ではどこか苦手な教科があるのは仕方ないことであり、得意な教科を伸ばす指導がよい。</p> <p>2 生徒指導</p> <p>(1) 欠席日数が年間10日以下というのは、何か基準があるのか。もう少し数値を緩和してもよいのでは。</p> <p>(2) ③「学校生活が充実しており、生徒は登校することが楽しいと感じている」において、保護者の評価が高く、いい環境で3年間学ばせてもらったと思う。</p>	<p>小・中・高の教員間で連携を密に取り、情報交換を行う。</p> <p>生徒に興味・関心を持たせられるよう、自ら学ぶことによって伸ばしていきたい。</p> <p>コロナの影響で少しでも体調の悪い時には登校しないというのが定着しているので、基準緩和を検討する。</p>

評 価 ・ 提 言 等	提言等に関する改善方策等
<p>3 学校運営への提言</p> <p>(1) 生徒にいろいろな体験をさせてもらっており、コンテスト等で賞をもらったことで自信に繋がった。今後も地域活動などを継続してもらいたい。</p> <p>(2) 評価が低い項目もあるが、来年度の方向性をしっかりと決めておくが良い。</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 地域のイベント等で自分の意見をしっかりと言える生徒が多く、高校生の生の声を聞くことができる。</p> <p>(2) 高校生年代は、知識や情報をインプットすることは得意で、アウトプットすることを遮断する時期であるが、弓削高生はしっかりできている。</p>	<p>総合的な探究の時間に力を入れており、地域と一体となって教育活動を推進していく。</p> <p>全教職員の意識統一のもと、目標を決定する。</p>